

## 平成29年度 事業報告

### ハローファクトリー

一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行った。

またその他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行った。

【第二種社会福祉事業】・・・《 障害福祉サービス事業 》

- ア) 事業所の名称          ハローファクトリー  
イ) 所在地                  岡山市南区藤田1829-5  
ウ) 経営主体              社会福祉法人 美土里会  
エ) 実施事業及び定員  
        ・就労継続支援B型事業・・・・・・35名

## I. 利用状況

※ 9ページ参照

## II. 実施事業

### 就労継続支援B型

#### i) 生産活動

- ① パン、ラスク、クッキー、パウンドケーキ等の製造・販売、新製品の開発  
「岡山県セルフ協」において、開発した「ハローラスク」等を製造・販売した。
- ② 煎餅の製造開発  
・ロゴマーク、イラスト等の商標登録を行い、ごぼうやれんこん、あみ海老のせんべいを製造・販売。
- ③ 自動車部品のバリ取り作業   【S 工業】
- ④ 子供服ハンガーリサイクルのための仕分け、シールはがし、粉碎【R 社】
- ⑤ 糸摘み【T 社】
- ⑥ 菓子箱折り（M 社）
- ⑦ 封入作業【3社】
- ⑧ ペットボトルのリサイクル回収

#### ii) 工賃向上

岡山県の「工賃向上計画」に沿ったかたちで当事業所においても工賃向上計画を策定し、実施・適宜見直しを行った。

軽作業では新規取引企業【R】とリサイクル関連作業を本格的に始動するため、別棟作業室に動力を整備し粉砕機を稼働させた。食品関係では季節に応じた新商品の開発や焼き菓子等で贈答品の企画販売を行った。また、恒例ではあるが事業所間（他のB型事業所）で相互に協力販売（購入）を実施した。

岡山県セルフ協加盟のパン製造・販売をしている事業所で構成しているパン部会において、共同開発商品「給食用セルフパン」「酒粕入り焼菓子」を製造・販売した。

＜セルフパン関係の取引先＞

- ・A 保育園（岡山市北区）
- ・O 医療センター（岡山市北区）

岡山市障害福祉課が行った「障害者就労施設商品ブラッシュアップ事業」に継続して参加。

※「ブラッシュアップ事業とは」

障害者就労施設等で製作する商品について、主に福祉以外の分野で活躍されているプロのデザイナーとのコラボレーションにより、既存の商品の「カラ」を破るようなデザイン・パッケージへのブラッシュアップ（磨き上げ）を行い、商品の売上増加・販路開拓による工賃向上を目指すもの）

iii）施設外就労

工賃向上及び職業意識の向上のため、藤田在所の「(有)M」にて施設外就労を継続して実施した。ただし一日あたりの参加者を3名→5名に増やした。

## Ⅲ. 支 援

### 1：生産活動（工賃）

就労継続B型支援では工賃向上と同時に利用者ニーズを受け止め、生産活動に反映させた。

そのなかで、工賃向上計画を毎年策定・見直しを図り、平成20年度から概ね毎年工賃の向上ができていたが平成26年度においては大きく減額してしまった。

しかし27年度以降再び向上している。

日々の業務（作業）だけに追われ、現状に疑問を感じないことの無いようスタッフ全員が工賃向上の意識と同時に作業の細分化、マニュアル化を進め障害福祉サービスとしての質的向上に努めるようにした。

＜工賃実績＞

就労継続B型事業の工賃目標及び実績は岡山県に報告しており、岡山県のホームページにおいて閲覧することができる。

### ハローファクトリーの利用者工賃（直近5年分）

| 年度   | 月額平均工賃   |
|------|----------|
| 25年度 | 15,388 円 |
| 26年度 | 10,837 円 |
| 27年度 | 13,981 円 |
| 28年度 | 14,077 円 |
| 29年度 | 14,148 円 |

## 2：生活支援

事業に定められた支援計画のモニタリング・見直しとは別に年度末に全利用者・ご家族と個別面談を実施し、アセスメントを通じて個々のニーズの達成状況を時間軸に合わせながら支援計画を作成した。

- i) 基本的な生活能力については、エンパワメントを重視しながら達成に向け支援を実施した。長期目標とは別に具体的目標を時間軸の中で到達できるよう心掛けた。
- ii) 情緒の安定が必要な利用者には、作業面、社会活動面でも小集団化を図ることにより特に問題なく活動できた。今後とも、ケース会議等を通じて全職員に課題と支援方針の共有化を図り利用者の安心感はもちろんのこと、特定の支援者に負担がかかり過ぎないように軽減を図らなければならない。

## 3：行 事

基本的に活動に係る費用を利用者負担としていることから、実施に当たっては事業計画内容であろうと事前の説明と同意が必要である。そのことから全員が参加できるような招待企画や低予算の行事を主として実施した。

| 月   | 行事名                  | 対象      |
|-----|----------------------|---------|
| 5月  | 障害者スポーツ大会            | 申込者のみ   |
| 8月  | 健康診断（医療機関にて）         | 全 員     |
| 11月 | ボーリング大会              | 全 員     |
| 10月 | 家族会合同バスツアー（姫路太陽公園）   | 全 員、家族会 |
| 12月 | 忘年会（瀬戸内マリンホテル）、お楽しみ会 | 全 員     |
| 1月  | 初詣（藤田神社）             | 全 員     |
| 3月  | 健康診断（ハローファクトリーにて）    | 全 員     |

## 4：健康管理

- ・年2回（8月、3月）医療機関による健康診断

実施医療機関：A 病院

- 新型インフルエンザ流行の経験から手指消毒・うがい及びマスクの着用を習慣化するよう努めた
  - 職員に対してはインフルエンザの予防ワクチンを原則全員に接種し、利用者には家族ぐるみのインフルエンザ予防接種をお願いした。
  - インフルエンザ・ノロ等の感染症予防の観点から、次亜塩素水を空中噴霧する装置を冬季半年間（11月から3月まで）事務所で設置・使用した。
  - 手指消毒用の薬品を玄関等に常時設置した。
  - 毎月の体重測定（BMI 計算）                      ・エネルギー対応食の実施。
  - 毎日の健康観察、適宜検温、家庭との連携のもと健康観察に努めた。
  - 服薬に関しては毎年アセスメント時において、情報を得つつ通院時の最新服薬情報の収集に努めた。個々には支援者による服薬の現認や、薬剤の殻確認等により徹底を図った。
- また、利用者全員の服薬内容をより詳細把握するため調査を行い、変更時の情報把握も徹底した。
- 希望されるご家族には利用者の同意のもと、かかりつけ医師への情報として状況記録の作成・提供を行った。
  - アレルギー食材について新規利用者や実習生等に調査を行い、アレルギーの種類・程度を確認しベネミール㈱と共有のもと間違いが起こらないよう個人カード、一覧表作成等見直しを行った。
  - 利用者、職員とも敷地内禁煙、就業時間内禁煙を実施。あわせて禁煙希望者には禁煙外来の補助を条件付きで実施した。

## 5：食事サービス

一食648円で希望者に提供。但し、給食体制加算の対象者は1食300円（食材料費分）で提供した。給食提供加算が300円なので差額の48円は事業所が負担した。

利用者から給食委員を選任し利用者の要望・リクエストメニューを毎月の給食会議で献立等に反映させた。

その他、毎月の季節感を取り入れた食材やメニューを給食会議で協議し献立に組み入れた。また希望者にはエネルギー制限食を提供した。

＜給食会議メンバー＞

- ベネミール管理栄養士
- ベネミール調理員（2人）
- 利用者（2人）
- ハローファクトリー職員

## 6：送迎サービス

1日の利用時間の中で長時間を送迎車で過ごすことの無いよう、送迎ルートを見直した。

ルートは、郡・岡南方面、妹尾・興除方面、中区役所方面の**3ルート**実施している。  
職員の時間外勤務の短縮のため、中区役所方面は運転手を雇用している。

## 7：防 災

火災による避難訓練と年1回の総合防災訓練及び南海トラフ地震による津波避難訓練1回を実施。また消防法で定められている年2回の消防設備の点検（内、1回を消防署に報告）を実施した。

- ・火災避難訓練… 10月
- ・地震・津波避難訓練… 3月
- ・消防設備点検… 5月・11月（アルソック）

■施設を区割りし、区画別に管理担当者の名前を記載した札を掲げ、担当意識を持たせるようにした。

■防火管理者・・・職員 A

■その他

岡山市の「災害時要援護者避難支援台帳の登録申請」を実施。

【対象者】（1）ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の人（2）障害のある人  
（3）介護が必要な人（4）特定疾患医療受給者証を持っている人など

## 8：支援体制（職員配置）

職員配置体制は指定基準を上回るよう配置した。

職員配置状況【人員数は常勤換算の員数】

| 就労継続支援 B 型             | 実配置人員（目標達成指導員含む） | 配置基準（目標達成指導員含む） |
|------------------------|------------------|-----------------|
| ハローファクトリー<br>（重度者支援体制） | 7.5 人            | 4.1 人           |

## 9：会 議

支援課題の検討・協議をはじめ必要な各種会議を実施した。

### ①個別支援計画会議

利用者一人一人に適切な支援をするため、支援計画の策定、見直しに係る会議を定期的の実施した。

### ②作業別会議

毎月1回以上の実施。各作業別に生産活動の収支状況、利用者工賃の協議を行

っているほか、作業課題の協議として実施した。

### ③ケース会議

各会議で協議にあがる利用者支援上の課題に対して行った。日々の申し送り時や事業班会議では質・量とも不足する案件は、別途ケース会議を設け課題や対応の共有化をはかった。

### ④職員会議（全体）

月1、2回実施：支援状況の確認、作業別会議の報告、行事の立案、職場内研修、利用者工賃の協議等総括的協議の場として実施した。

### ⑤工賃向上会議

工賃向上計画にそって現状把握、進捗状況、課題の整理等を適宜実施した。

### ⑥申し送り

一日の全ての報告とともに、事故報告、ヒヤリ・ハット等の緊急的課題協議の場として毎日実施した。

### ⑦その他 ・給食会議（毎月月初）

- ・担当者会議（適宜）利用者を中心とした他機関と合同会議
- ・委員会会議（適宜）
- ・事業間を横断した工賃向上や食品会議（毎月）
- ・相談支援従事者とサービス管理責任者との意見交換会（隔月）

## 10：研 修

### 【外部研修】

日々の業務を通して学ぶことは基本であり重要であるが、現場を離れることにより自己を振り返り、反省とともに新しい知識や動機付けに施設外研修はなくてはならず、支援者として質的向上のきっかけが得られるよう以下の研修に参加した。

| 月   | 研修名               |
|-----|-------------------|
| 5月  | 工賃向上研修会           |
| 5月  | 岡山県産小麦の製菓製パン勉強会   |
| 6月  | 岡山県福祉職員生涯研修 新任コース |
| 8月  | 食品表示入門コース         |
| 8月  | 岡山県福祉職員生涯研修 管理コース |
| 8月  | 工賃向上研修会           |
| 9月  | 工賃向上研修会           |
| 9月  | 岡山県相談支援従事者初任者研修   |
| 10月 | 食品表示セミナー          |

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 11月 | 小田象パン講習会            |
| 12月 | 商品パッケージデザイン向上セミナー   |
| 12月 | 岡山県サービス管理研修会（地域生活）  |
| 1月  | 災害救助の在り方に関する研修会     |
| 1月  | 岡山県福祉施設・事業所研究交流セミナー |
| 2月  | 食品表示法基礎講習会          |
| 2月  | 岡山県障害者虐待防止・権利擁護研修   |
| 2月  | 災害福祉支援セミナー          |
| 2月  | 行動障害療育研修会           |
| 3月  | 工賃向上研修会             |
| 3月  | 災害時要配慮者支援体制構築セミナー   |

【内部研修】

| 月   | 研修名                             |
|-----|---------------------------------|
| 9月  | 発達障害の特性と具体的ななかかわり方（デイハウスかりんと合同） |
| 10月 | 盲・重複障害の方の移動支援（デイハウスかりんと合同）      |
| 12月 | 災害発生時 福祉現場はどう動くか（デイハウスかりんと合同）   |

【29年度の参加研修等 法人】

| 月   | 研修名                      |
|-----|--------------------------|
| 7月  | 社会福祉法人 主任／係長講座           |
| 9月  | 福祉施設におけるキャリアパス・人材育成研修    |
| 9月  | 2年目のストレスチェック制度と企業の抱える課題  |
| 12月 | 福祉施設のためのリスクマネジメント研修会     |
| 1月  | 社会福祉法人 労務管理セミナー          |
| 1月  | 障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム |

## 12：地域交流

藤田町内会主催の「藤田ふれあい祭り」（11月26日）等の地域主催行事に参加し地域団体及び住民との交流を図った。

大災害に弱い土地柄であるので、地域の防災訓練に参加し、災害時や普段からも協力し合える関係づくりを図った。

また、地元中学校の授業として職場訪問、職場体験学習等の受け入れを行った。  
これは開所以来、毎年受け入れを実施している。

### **13：苦情受付**

苦情受付に男女2名の専門員を配置し、苦情、意見、要望の申出をしやすくした。

＜申出件数……2件＞

5月 苦情（送迎迎えの時間を過ぎ、連絡がつかないため出発）  
ハローから代替車を運行させた。

6月 苦情（受傷：他利用者にされたのではないか 疑い）

### **14：虐待防止**

平成24年10月より「障害者虐待防止法」が施行されている。

虐待の禁止だけでなく、事業者として防止策を講ずる責務を負っていると共に発見した場合は岡山市等に通報義務を課せられている。

＜通報件数……0件＞

＜発見件数……0件＞

### **15：その他（危機管理）**

事故は十分に気をつけていても起こりうるものである。しかし過去の事故やヒヤリ・ハットの事例から未然に防止できる事案もあることを踏まえ事故等が起きるたびに原因を精査し、改善案を職員全員で共有した。

今年度も昨年同様、事故の概念を治療や修理に限定せず、軽度の破損行為やたたく等の他害があれば事故として件数にあげた。

#### **■ヒヤリ・ハット…2件**

29年 5月 利用者の所在未確認のまま送迎車を出発。家族とは連絡がつかず、次の利用者が待っているため出発した。直ちにハローから別の送迎車を運行した。

30年 1月 2階作業室ロッカーが転倒。取り付けが曖昧であった。

#### **■事 故 …… 2件**

29年 7月 焼菓子の異物混入

30年 3月 利用者（H）の送迎中のでんかん⇒家族に連絡後、救急車対応

## 16：資 料

### 利用者状況（所轄の福祉事務所別）

（平成30年3月31日現在）

| 福祉事務所        | 利用者数 |
|--------------|------|
| 岡山市健康づくり課    | 1    |
| 岡山市北区中央福祉事務所 | 4    |
| 岡山市中区福祉事務所   | 3    |
| 岡山市南区西福祉事務所  | 16   |
| 岡山市南区南福祉事務所  | 13   |
| 玉野市福祉事務所     | 1    |
| 合 計          | 38   |

### 29年度 入・退所状況

|     | 人 数 | 理 由                             |
|-----|-----|---------------------------------|
| 入 所 | 5名  | 支援学校新卒 3名<br>相談支援経由（病院紹介）<br>2名 |
| 退 所 | 1名  | 長期入院 1名                         |

### 利用者状況（年齢別）

（平成30年3月31日現在）

| 年齢／性別   | 男性 | 女性 | 合計 |
|---------|----|----|----|
| 20歳未満   | 2  | 1  | 3  |
| 20歳～24歳 | 2  | 4  | 6  |
| 25歳～29歳 | 4  | 5  | 9  |
| 30歳～34歳 | 2  | 4  | 6  |
| 35歳～39歳 | 2  | 1  | 3  |
| 40歳～49歳 | 6  | 2  | 8  |
| 50歳以上   | 2  | 1  | 3  |
| 合 計     | 20 | 18 | 38 |

※ 平均年齢【31.6歳】